

枝 ロウバイ

ロウバイ科

使用
部位季
節

池坊

使用量	(少ない) 1/3が年に1度は使用する
使用時期(お稽古)	流通時期 1~3月頃
本数	お稽古で一人あたり、3本で使用することが多い
葉、枝	80cm位
特徴	枝が折れやすく、初級のものには扱いにくい。

小原流

この流派でよく使う種類	ロウバイ、クロバナロウバイ、ナンキンウメ、カラウメ
使用量	(少ない) 1/10の割 1回
使用時期(お稽古)	冬期
使用時期(試験)	12~2月
特徴	ロウバイの名は蠟細工のような花という意味を持ち、淡黄色の花で芳香を漂わせる。花はやや下向きに咲く。枝はためが効かない。花つきが多すぎると風情がなくなるので少し間引くと良い。クロバナロウバイは鮮緑色の葉があつての渋い美しさが魅力。枝ぶりは単調。

冬

入
手
困
難流
通
量
(少)

龍生流 *龍生派では古は古典花、自は自由花を指します。

使用量	(少ない) 1/5 クラス年1回 写真撮影
使用時期(試験)	12~2月
本数	任意
特徴	自：テーマによる研究会(試験)で使われる。

生産者情報

産地名	地域	連絡先/担当	備考
北見一男	千葉県南房総市		12~2月
黒沢屋 黒沢充雄	埼玉県秩父郡小鹿野町		
両神花卉生産組合	埼玉県秩父郡小鹿野町両神	03-3799-5526 (市場) FAJ 切花部	
酒井園芸・酒井規之	千葉県印西市	03-3799-5526 (市場) FAJ 切花部	